

Joint News Release

2025 年 10 月 1 日

この資料は BASF が 2025 年 9 月 30 日に中国で発表した英語のプレスリリースを BASF ジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。

BASF の SYNSPIRE® G1-110 触媒が南亜プラスチック社の 2-エチルヘキサノール(2-EH)工場における蒸気効率を向上、持続可能な運営を加速

- SYNSPIRE® G1-110 触媒技術の導入により、南亜プラスチック社の 2-EH 工場は運用コスト(OPEX)を大幅に削減
- この革新的な触媒により、南亜プラスチック社の工場では、年間 38,000 トンの CO₂ 排出削減を達成

BASF(本社:ドイツ ルートヴィヒスハーフェン)は、2024 年初頭、Nan Ya Plastics Corporation(南亜プラスチック社、本社:台湾 台中市)の 2-EH 製造拠点である麦寮工場に SYNSPIRE® G1-110 触媒を導入しました。この導入により、年間約 40,000 トンの蒸気消費量を削減し、38,000 トンの CO₂ 排出を回避することに成功しました。

この 2-EH 工場は、南亜プラスチック社のグローバルネットワークの一部であり、n-ブチラルデヒドを原料として、縮合、水素化、蒸留、精製の工程を経て高性能な 2-EH を製造しています。2-EH は多くの下流製品の重要な原材料です。

BASF の SYNSPIRE® G1-110 触媒は、従来の蒸気メタン改質プロセスと比較して乾燥条件下でメタンと CO₂ を改質するために設計された最先端のソリューションです。この触媒は、コーキングによる劣化に対して優れた耐性を備えており、長期間の運転サイクルでも高い性能を維持します。これにより、顧客は蒸気消費量を削減しながら、高い CO₂

吸収・転化率を実現することが可能となります。この革新的なアプローチは、業界の持続可能な変革を促進しています。

2-EH 工場の効率的な運営は、南亜プラスチック社が温室効果ガス排出の削減、持続可能な原料の活用など、環境への配慮に取り組む先進的な化学メーカーであることを示しています。SYNSPIRE® G1-110 触媒の優れた性能と、BASF の技術的専門知識、触媒イノベーション、協力体制が、南亜プラスチック社の目標達成を支援しています。

※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

■BASF の触媒事業について

BASF は化学産業向け触媒の世界的なリーディング・サプライヤーです。化学品バリューチェーン全体にわたってソリューションを提供しています。本事業は、化学触媒、吸着剤、カスタム触媒で構成されており、化学産業のネットゼロへの移行を可能にする製品の開発・改良に注力しています。詳しい情報は <https://www.chemical-catalysts-and-adsorbents.basf.com/> をご覧ください。

■BASF について

BASF (ビーエーエスエフ) は、ドイツ ルートヴィヒスハーフェンに本社を置く総合化学会社です。私たちは、持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、経済的な成功とともに環境保護と社会的責任を追求しています。また、お客様のグリーントランスフォーメーションを可能にする、選ばれる化学会社になるという意欲的な目標を掲げています。全世界で約 112,000 人の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献しています。ポートフォリオは、コア事業の事業セグメント(ケミカル、マテリアル、インダストリアル・ソリューション、ニュートリション & ケア)、スタンドアロン事業の事業セグメント(サーフェステクノロジー、アグロソリューション)から成ります。2024 年の BASF の売上高は 653 億ユーロでした。BASF 株式はフランクフルト証券取引所(BAS)に上場しているほか、米国預託証券(BASFY)として取引されています。BASF の詳しい情報は <https://www.basf.com/global/en.html> をご覧ください。